

早川平会計事務所通信

5月号 VOL. 078

税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10安和司町ビル2階

電話：03-3254-2171 F A X：03-3254-2174

<http://www.ht-tax.com>

mail：y.taira@ht-tax.com



いつもお世話になります。元禄2年3月27日の明け方、江戸を出発した松尾芭蕉は、約150日間、六百里（約2400キロ）にもおよぶ果てしない旅に出ました。「月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也」の序文から始まる『おくのほそ道』です。この日を新暦に換算した5月16日は「旅の日」と呼ばれています。

【平成二十七年一月一日から相続税が改正に】

相続税の目的には「富の再分配」や「格差の固定化防止」があります。しかし、バブル崩壊後、地価は下落しましたが相続税の基礎控除は逆に拡充されました。そのようなことも要因のひとつとなり、相続税の課税件数の割合は昭和六十二年の7.9%から平成二十三年には4.1%にまで低下しました。今回は「相続税」を強化する一方で、補完役である「贈与税」は緩和となります。生前贈与を一層促進させることが贈与税改正の目的のようです。高齢者の保有資産を若い世代へ早期に移転させて経済の活性化にもつなげたい考えでしょう。今回の相続税改正の注目ポイントは、定額控除が5000万円から3000万円に、法定相続人数比例控除が法定相続人一人につき1000万円から600万円になることです。このため一般的なケースで、さらに法定相続人を仮に配偶者と子二人の計三人とした場合、従来なら相続財産が8000万円を超える場合であったものが、改正後は4800万円を超える場合から相続税がかかることとなります。これまでは相続財産が8000万円であればゼロであった相続税が、改正後は350万円必要ということとなります。このようなことから今後は、緩和された贈与税をより上手く活用して相続対策を考えていきたいところです。相続税は早い時期から計画的に対策することが大切です。まずは一度ご相談ください。



【高級肉のステーキをより安く提供して大評判！】



『いきなり！ステーキ』は東京銀座にある立ち食いステーキ専門店です。前菜も座席もないのでお客の回転が速く、圧倒的なコストパフォーマンスの良さで行列が絶えません。流行の立食スタイルですが、炭焼きステーキレストランの姉妹店として「ステーキを味わう贅沢」のみに的を絞ったのが特徴です。こだわりの熟成肉を分厚く切り、絶妙な加減でジューシーに焼き上げた究極のステーキが大評判。消費者のニーズならぬ胃袋をギュッとつかんで繁盛は続きそうです。

A型	B型	O型	AB型
運勢は停滞ムードで何事も根気と粘り強さがが必要です。もうひと踏ん張りして道は開けると信じて前進あるのみ！	日頃の活動が周囲に認められる月です。人気運も上昇傾向なので欲張らずに進めば好結果も期待できそうです。	外見は良好に見えても内面は問題を抱えやすい月です。些細なことで一喜一憂せず、心を大きく構えましょう！	能力を発揮することで自然に道は開けます。出し惜しみせずに全力でぶつかることで周囲からも認められて吉！

【血の通った組織】

ある会社のA社長は組織というものを「クルマ」に例えていました。「クルマはエンジンやハンドルやタイヤなど様々な部品の集合体だが、部品だけを集めてもクルマにならない。各部品がコードでつながってはじめてクルマという完成品ができあがり、ようやく動くようになる。これは組織も同じだろう」と。

組織には上下関係がありますが、上下の関係だけで成り立っているうちは単なる人の集合体で自主性も協調性も創造性も期待できません。しかし、上下関係の中にも横のつながりが生まれるとチームとして機能しはじめます。横のつながりとはクルマでいう部品同士をつなげる「コード」のようなもの、すなわち人間関係なのです。ところが、人間関係にはクルマをつくるような「決められた工程」がありません。相手にも感情があるので、「今から人間関係を結ぼうじゃないか！」「そうしよう！」とはいかないから苦労するのだとA社長は言います。

そこでA社長が心掛けていることは、部下から「この人は信頼できそうだ」と思ってもらえる行動だそうです。基本は小さな約束を守ること。つまり言動の一致です。「明日の朝電話する」と言ったら翌日の朝一番で電話を入れる。それが小さな用事でも、朝一番で電話する必要性がなくても、約束を守ってもらえると「私はこの人から大事にされている」と感じて自然と相手に好意を持つものとか。心理学的には「信頼」と「好意」は同一次元のポジティブな感情とされており、相手から好意を持ってもらえると信頼関係を築きやすいのだそうです。



「すぐに確認してきます」と言って悠長に歩いて行く人と、その場から急ぎ足で立ち去る人と、どちらが好印象かは比べるまでもありません。言葉と行動の一致は好意につながります。好意は「見えないコード」と

なって人と人を結び、やがて「信頼」というクルマが動き出します。上下関係だけでも仕事はできますが、そこに人間同士の付き合いがあれば血の通った組織となるのでしょう。

痛快！えだまめ君

画：ほりひろみ



【ディズニーの現場力】

東京ディズニーリゾートでは、約2万人もの従業員が働いているそうです。これだけ大きな組織にもかかわらず、「ディズニーの理念」は従業員の一人ひとりに浸透しています。その裏にあるディズニーの仕組みや教育法などが学べる一冊です。

